

●株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
 剰余金の配当基準日 期末配当 3月31日
 (中間配当 9月30日)
 定時株主総会 毎年6月下旬
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座を お持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社に なります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 (トラストラウンジは除く) みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払 明細発行については、右 の「特別口座の場合」の郵 便物送付先・電話お問い 合わせ先・お取扱店をご 利用ください。	単元未満の買取・買増以外の 株式売買はできません。電子 化前に名義書換を失念して お手元に他人名義の株券が ある場合は至急ご連絡くだ さい。

※未払配当金のお支払のみ、株式会社みずほ銀行全国本支店でも
お取扱いいたします。

公告方法 電子公告(<http://www.okayaelec.co.jp>)
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をするこ
 とができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

●株主優待のお知らせ

株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、当社株式への投資の
 魅力を高め、個人株主層のさらなる拡大並びに中長期的に株
 式を保有していただき、より一層のご支援をいただきたく、
 毎年3月末の当社株主名簿に記載された株主様を対象として
 株主優待をいたします。

《優待内容》
 100株以上 500株未満 おこめギフト券 2kg
 500株以上 1,000株未満 おこめギフト券 5kg
 1,000株以上 おこめギフト券 10kg



100株以上を **3年以上** 継続保有の株主様には

おこめギフト券
 1kg プラス
 *3月末において、連続4回以上
 株主名簿に同一株主番号とし
 て、記載されている株主様。



●単元未満株式の 買取・買増制度のご案内

単元未満株式(100株未満の株式)については、「単元未
 満株式の買取請求」により、当社に売却することができます。
 また、「単元未満株式の買増請求」により、当社から単元株
 式数(100株)に不足する株式を買増して、100株単位にま
 とめることもできます。「単元未満株式を売却する」、「単元未
 満株式を100株に買増す」という株主様は、口座を開設され
 ているお取引証券会社等にお申し出ください。なお、特別口
 座に記録されている株主様は、特別口座管理機関であるみず
 ほ信託銀行へお申し出ください。

株主名簿管理人 〒168-8507
 特別口座管理機関 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 (お問い合わせ先) みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 0120-288-324(フリーダイヤル)
 受付時間 9:00~17:00(土日祝日を除く)

10S-OKAYA 2012-2014
 Customer Trust OKAYA

第90期 事業報告書

2012年4月1日～2013年3月31日

株主の皆様へ

当連結会計年度における世界経済につきましては、米国では雇用の維持や住宅問題に改善の兆しが見られ、個人消費においても緩やかながらも回復が見られました。一方、欧州諸国は債務問題を背景とする経済の停滞が見られ、中国やインドを中心とする新興国においても輸出の伸び悩みや金融引き締め等の影響により、今までのような高い成長ペースには陰りが見られました。

一方、国内においては期初には震災復興への期待やエコカー補助金等の経済対策により緩やかな回復傾向が見られましたが、後半には欧州債務問題の長期化や中国の景気減速、円高継続の影響などにより、企業の設備投資は減速し、通年で厳しい状況で推移しました。

このような経営環境の中、当社グループの売上は第1四半期には若干上昇傾向が見られたものの、その後は一進一退を繰り返し、年度合計では当初の計画を大きく下回る結果となりました。

国内では、工作機械向けがスマートフォン生産用で第2四半期までは一部増加したものの、その後減速し、全体としては中国や欧州諸国向けの低迷の影響を大きく受け、伸びは見られませんでしたが、一方で環境エネルギー分野の部品については、強かに市場開拓並びに提案活動を進め、各セグメントで徐々に成果が出てまいりましたが、国内売上は前年度を下回りました。

また、海外においては、薄型テレビ向け部品的大幅落ち込みからの回復は見られず、エアコン用部品も一部地域で増加したものの、期待した成果には届きませんでした。特に中国においては個人消費の伸び率低下や欧州向けの輸出製品の大幅減少の影響があり、中国国内の新規ローカルメーカーへの深耕や、台湾・韓国等のメーカーへの積極的な拡販を進め、一部は成果が出ておりますが計画値に対しては大きく下回る結果となりました。

こうした中、現在新規分野に対しては継続的に市場調査ならびにユーザー開拓を進め、特にエネルギー関連として太陽光・風力発電のパワーコンディショナー向けのノイズ関連部品、サージ関連部品や屋外LED照明用の部品などは従来以上の成果を上げております。さらに、医療機器業界への新規開拓を継続し、精密医療機器本体のみならず精密医療機器を設置する部屋の診断環境対策用部品やLED医療照明などについても提案活動を強化し、徐々に成果が出ております。

コスト面につきましては労務費の低減に努めるべく、中国の工場を受注動向に対応できる省人化ラインの増設を行いました。毎年発生する旧正月前の直接人員の帰省者数が例年以上に多く、第3四半期から第4四半期にかけて、やむなく賃金の高い学生工員を多数雇用せざるを得ない状況で、労務費負担が予想以上に増加しました。

一方、中国に比べて人件費負担の少ないスリランカ工場では、コンデンサ部門の製造品種拡大と歩留まりの向上対応、およびコイル製品の生産強化などを進めております。

また、研究開発部門では省エネ効果の大きい新製品や従来品より付加価値の高い製品開発に努めるとともに、原材料の低廉化や購入先の選別等も進め、損益分岐点の引下げに努力しております。

平成25年6月



代表取締役社長
最高経営責任者 **山岸久芳**

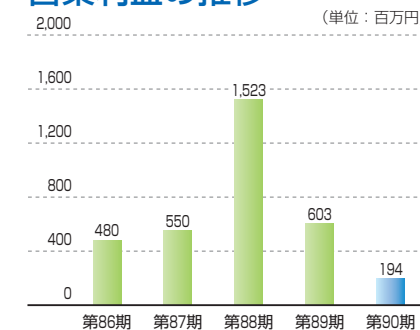
決算ハイライト

売上高	113億26百万円	(前期比)	91%
営業利益	1億94百万円	(前期比)	32%
純利益	2億7百万円	(前期比)	52%

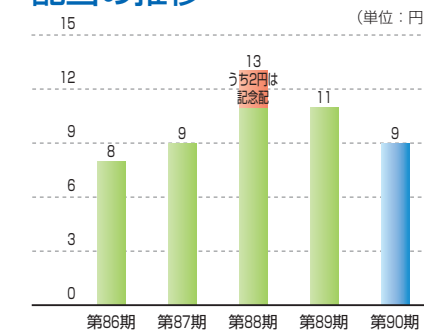
売上高の推移



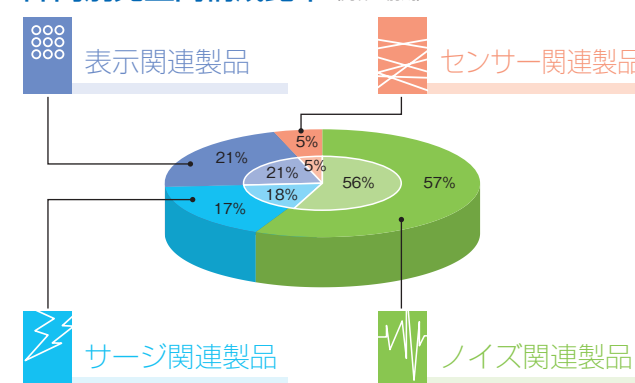
営業利益の推移



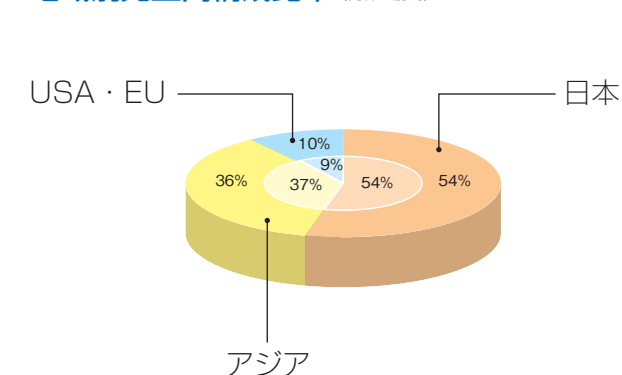
配当の推移



部門別売上高構成比率 (内枠は前期)



地域別売上高構成比率 (内枠は前期)



● 製品部門別の概況

ノイズ関連製品

薄型テレビを中心としたAV機器向け部品の落ち込みは、回復の兆しは見ておりません。さらに、エアコン、工作機械等向けについても期待した成果は上げられませんでした。

一方において、エネルギー関連に注目し、太陽光・風力発電用パワーコンディショナー向けのノイズフィルタや医療機器関連のノイズ関連製品は伸びを見せており、今後も期待される分野と考えております。



サージ関連製品

中国を中心としたインバータエアコン向けや工作機械関連は低迷しました。一方、ノイズ関連製品と同様に、パワーコンディショナー向け製品は増加し、屋外LED照明向けや、高速道路のETC向けなどは順調に推移しました。さらに、インターホン・監視カメラなどのセキュリティー関連やデータ通信業界向けの販売も進めました。



表示関連製品

国内において表示関連製品はLED分野に特化し、エレベーター・エスカレーターならびに、医療・医科向けのLED照明を拡販しました。また、国内ならびに海外の交通関連向けのFS-LCDにも成果が見られました。また、個人向け医療機器用LCD表示器などは主に海外で成果を上げました。



センサー関連製品

産業機器向けセンサーは全般的に設備投資減少の影響を受けて、大きな伸びは見られませんでした。一方、時計の時刻補正用センサーなどは継続的に受注を獲得しております。



● OKAYAニュース

25年4月 新しいOKAYAへ 機構改革実施

市場のグローバル化、変化のスピードに対応すべく、社内カンパニーとして「国際事業カンパニー」と「国内事業カンパニー」を置き、権限と責任を明確にし、市場に近い場所で「現場・現物・現実」主義でスピード感を持ってアクションを起こします。

本社には「経営本部」と「技術本部」を置き、「経営本部」は中・長期戦略の検討、マーケティング力の強化を図り、「技術本部」はオカヤグループ全体の要素技術開発を進め、技術開発力および品質信頼性の向上を図ってまいります。

